



©Barbara Luisi

## 指揮:ファビオ・ルイージ

チューリヒ歌劇場音楽総監督、デンマーク国立交響楽団(DNSO)首席指揮者を務める。また、ダラス交響楽団音楽監督に2020年より就任予定。

これまでに、メトロポリタン・オペラ首席指揮者(2011-2017)、ウィーン交響楽団首席指揮者(2005-2013)、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団および同歌劇場音楽総監督(2007-2010)、ライプツヒ放送交響楽団芸術監督(1999-2007)、首席指揮者、スイス・ロマンド管弦楽団音楽監督(1997-2002)、ウィーン・トーンキュンストラ管弦楽団音楽監督(1995-2000)などを歴任。

このほか、イタリアのマルティナ・フランカで行われるヴァッレ・ディートリア音楽祭音楽監督も務める。

また、フィラデルフィア管弦楽団、クリーヴランド管弦楽団、NHK交響楽団、ミュンヘン・フィル、スカラ座管弦楽団、ロンドン交響楽団、コンサートヘボウ管弦楽団、サイトウ・キネン・オーケストラに定期的に客演し、世界の主要オペラハウスにも登場している。

これまでにザルツブルク音楽祭でR. シュトラウス《ダナエの愛》《エジプトのヘレナ》を指揮し、チューリヒ歌劇場では、ベッリーニの3つのオペラ、《リゴレット》、《フィデリオ》、《ヴォツェック》、ヴェルディ《レクイエム》(チューリヒ・バレエ)の新プロダクションを初演。

メトロポリタン・オペラとの《ジークフリート》《神々の黄昏》の録音ではグラミー賞も受賞。このため、2013年にはイタリア音楽評論家協会より「フランコ・アッビアーティ賞」、2014年には故郷であるジェノヴァより、「グリフォ・ドーロ賞」を授与されている。ウィーン交響楽団より「ブルックナー・リング」を授与されたほか、イタリア共和国功労勲章「カヴァリエーレ」およびイタリア連帯の星勲章「コメンダトーレ」を受章。